見本（p.1）
2024年分

見本（p.2）
2023年分

見本（p.3）
2022年分

機能性表示食品 届出後分析実施状況説明書

・網掛けセルには届出書記載内容を転記ください

（注）公開年別の複数ページを1つのPDFに結合する場合の記入見本です。
・記載はあくまでも例示です。
記載する分析結果および表記方法については届出事業者にお任せします。
・届出食品毎に別ファイルにてPDF化をお願いします。
（説明書以外に公開希望の文書（例：試験成績書等）がある場合は、ページの先頭が説明書となるようにし、説明書とその他公開希望文書とをあわせて届出食品毎に1つのPDFファイルとしてください。

■基本情報

届出者名：	株式会社●●●●	※届出書記載内容を転記
届出番号：	D●●●	※届出書記載内容を転記
商品名：	●●サポート	※届出書記載内容を転記
食品の区分：	加工食品(サプリメント形状)	※届出書記載内容を転記
機能性関与成分名：	■■■■、▲▲▲▲	※届出書記載内容を転記
一日摂取目安量：	■■■■：**.*mg、▲▲▲▲：**.*mg	※届出書記載内容を転記
本資料作成日：	2025年●月●日	

■本説明書に記載する「機能性関与成分」
機能性関与成分名： ■■■■、▲▲▲▲ ※届出書記載内容を転記
※別紙様式（Ⅲ）-3（4）、別紙様式（Ⅲ）-4（最終製品）の（1）と（2）に対応
※複数成分ある場合は、カンマなどで区切って記載

分析結果（詳細）： ※行が足りなければ追加して記載 ※以下の記載に加えて、試験成績書を添付することも可

分析日	分析項目	分析結果	試験機関
2024年●月●日	■■■■	**.*mg以上／一日当たりの摂取目安量	一般財団法人○○分析センター（登録試験機関）
2024年●月●日	▲▲▲▲	*.*mg以上／一日当たりの摂取目安量	一般財団法人○○分析センター（登録試験機関）
2024年●月●日	●●●●	当該機能性表示食品に表示した機能性関与成分量に適合	株式会社 ●●●●（届出者）
2024年●月●日	▲▲▲▲	当該機能性表示食品に表示した機能性関与成分量に適合	株式会社 ●●●●（届出者）

■本説明書に記載する「安全性を担保する必要がある成分」
安全性を担保する必要がある成分名 ギンコール酸 ※届出書記載内容を転記
※別紙様式（Ⅲ）-3（4）、別紙様式（Ⅲ）-4（最終製品）の（3）に対応
※複数成分ある場合は、カンマなどで区切って記載

分析結果（詳細）： ※行が足りなければ追加して記載 ※以下の記載に加えて、試験成績書を添付することも可

分析日	分析項目	分析結果	試験機関
2024年●月●日	ギンコール酸	5ppm以下	一般財団法人○○分析センター（登録試験機関）
2024年●月●日	ギンコール酸	日本健康・栄養食品協会 JAFA規格（イチョウ葉エキス食品）の安全・衛生基準（ギンコール酸）に適合	株式会社 ●●●●（届出者）

■本説明書に記載するその他確認項目
その他確認項目名： 製品の崩壊性試験 ※届出書記載内容を転記
※別紙様式（Ⅲ）-3（5）、別紙様式（Ⅲ）-4（最終製品）の（4）に対応
※複数成分ある場合は、カンマなどで区切って記載

分析結果（詳細）： ※行が足りなければ追加して記載 ※以下の記載に加えて、試験成績書を添付することも可

分析日	分析項目	分析結果	試験機関
	製品の崩壊性試験	適合（日本薬局方）	一般財団法人○○分析センター（登録試験機関）
	製品の崩壊性試験	適合（日本薬局方）	株式会社 ●●●●（届出者）

分析結果（詳細）： ※行が足りなければ追加して記載 ※以下の記載に加えて、試験成績書を添付することも可

分析日	分析項目	分析結果	試験機関
2023年●月●日	製品の崩壊性試験	適合（日本薬局方）	一般財団法人○○分析センター（登録試験機関）
2023年●月●日	製品の崩壊性試験	適合（日本薬局方）	株式会社 ●●●●（届出者）

※複数成分ある場合は、カンマなどで区切って記載

分析結果（詳細）： ※行が足りなければ追加して記載 ※以下の記載に加えて、試験成績書を添付することも可

分析日	分析項目	分析結果	試験機関
2022年●月●日	製品の崩壊性試験	適合（日本薬局方）	一般財団法人○○分析センター（登録試験機関）
2022年●月●日	製品の崩壊性試験	適合（日本薬局方）	株式会社 ●●●●（届出者）

【方法①記入サンプル】
公開年別の複数の届出後分析実施状況説明書を1つのPDFに結合する場合：

過去に提出したシートと今年新たに提出するシートを併せて、１つのPDFにします。
ページ構成は、最新の情報が先頭に来るようにしてください。